
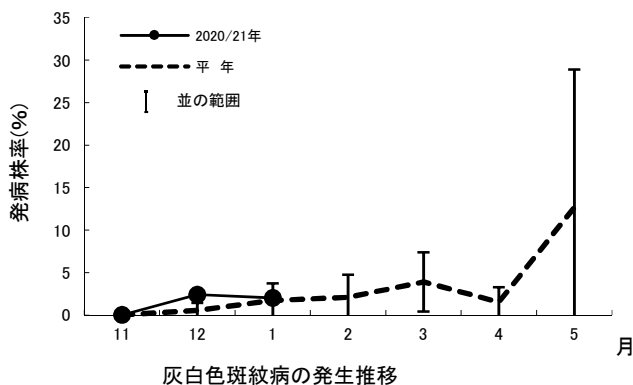


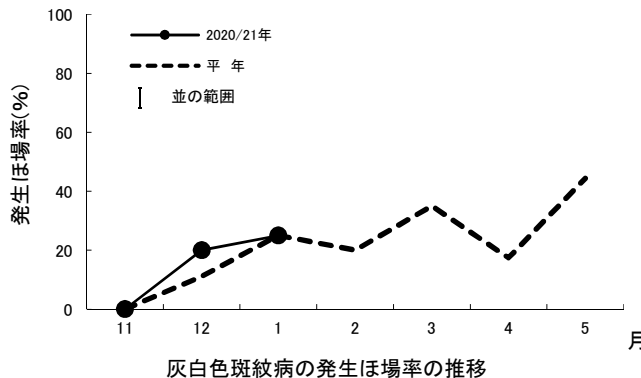
作物	ゴーヤー(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① モザイク病(スイカ灰白色斑紋ウイルス)		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		媒介虫(アザミウマ類)の発生量が平年より多い	

調査結果

(平均)



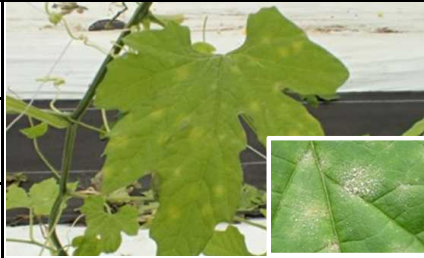
(発生ほ場率)



・一部ほ場で多発した。

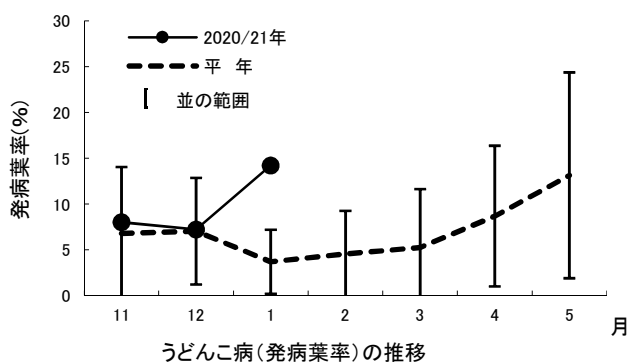
防除のポイント

- ・媒介虫であるミナミキイロアザミウマの侵入防止、早期発見・早期防除に努める。
- ・発病株は感染源となるため見つけ次第抜き取り、施設外に持ち出しポリ袋に入れて密閉処分する。
- ・汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。

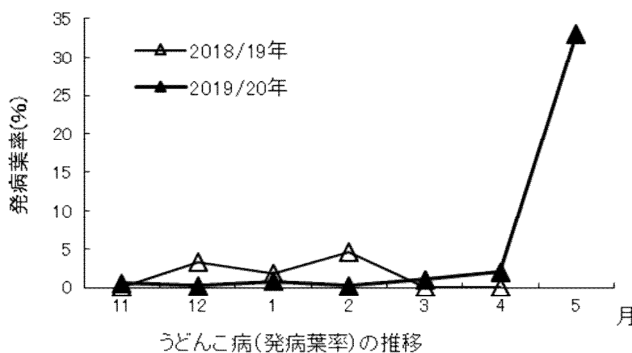
作物	ゴーヤー(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② うどんこ病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	多	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

(平均)



過去2年の推移



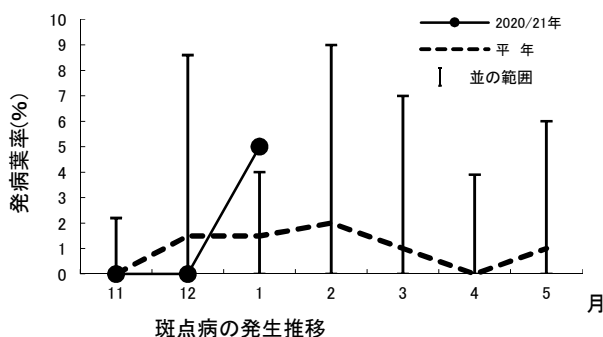
防除のポイント

- ・老葉や病葉は発生源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

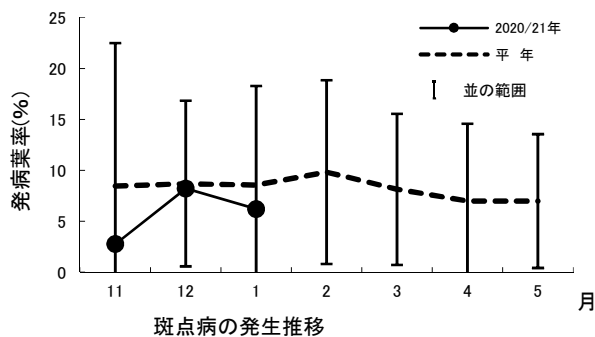
作物	ゴーヤー(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ 斑点病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

(中央値)

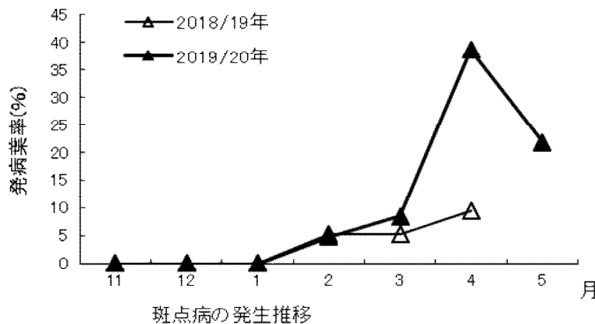


(平均)




過去 2 年の推移

(平均)



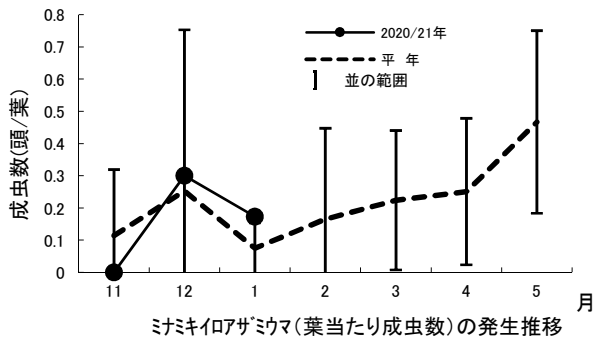
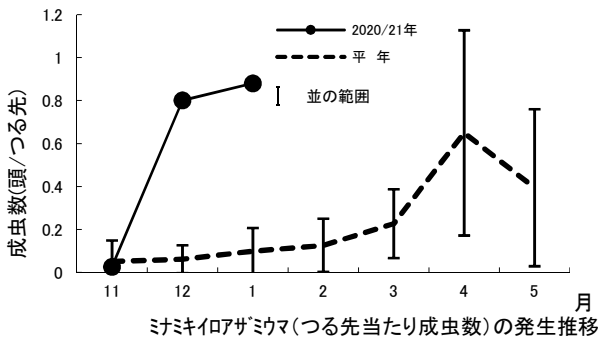
防除のポイント

- ・ 葉には周囲が黄色で中央が灰色の円形病斑を形成し、果実では表面にすす状のカビを生じる。
- ・ 老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・ 過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- ・ 多湿条件で発生が助長されるため、湿度管理に注意する。またビニールの破れは補修する。

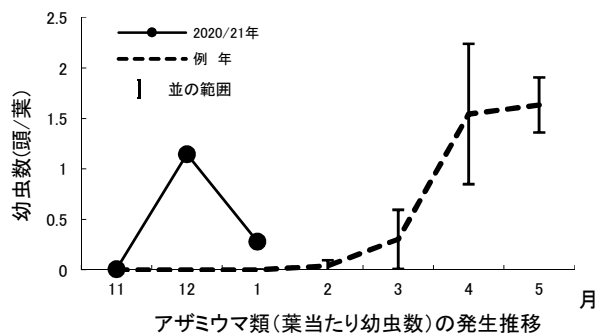
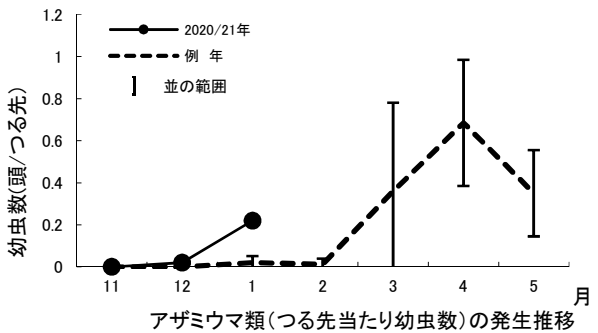
作物	ゴーヤー(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	多	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
		2 月の発生量 (平年比)	多
予報の根拠		つる先当たり成虫数が平年より多いため 今後1か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

ミナミキイロアザミウマ成虫数 (平均)



アザミウマ類・幼虫数 (平均)



防除のポイント

- ・本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、灰白色斑紋病を媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

